

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 3月9日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271401350		
法人名	医療法人 NANOグループ		
事業所名	グループホーム菜の花		
所在地	〒859-2412 長崎県南島原市南有馬町乙1565-1 (電話)0957-85-3333		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット 日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成21年3月3日	評価確定日	平成21年3月18日

## 【情報提供票より】(平成21年2月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和 <del>(平成)</del> 14年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 7 人 非常勤 2 人, 常勤換算 7.9 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	3,990 円
敷金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 700 円			

### (4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	2名	要介護2	0名		
要介護3	1名	要介護4	2名		
要介護5	4名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.6歳	最低	82歳	最高	100歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	菜の花クリニック
---------	----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

隣接している母体の病院の花壇には、菜の花が満開で、正しく名前の通りであり、入居者・訪問者を迎えている。菜の花クリニックは地域の医療に尽力しており、地域に医療と福祉を還元している。グループホームは病院に行き来する事で、どんな時も医療が受けられる体制が確立している。入居者は重度の人が多く、今年度は職員を増員しながら、介護と医療を合体した支援を考え、職員には常に研修を行い、医療面のスキルアップに重点を置いている。終末期への取り組みは充実しており、今までにも数名が最期を迎えられ、家族からは感謝されている。「入居者の安全」を常に視野に入れて支援している。地域の原城マラソンには、運営者の院長を始め、職員が多く参加し、パワーを感じる事が出来るホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価をホームの向上の一端と考え、メモを取りながらの受審であり、積極性が理解できる。前回の改善点は取り組み(数ヶ月家族への個別便りの発行されたが、現在は実施なし)の努力はあるが、積極的な取り組みではない。現実に取り組む為の、改善計画シートを作成し、ホームにとっての重要性を理解し、できる事は早急に、困難な事は期間を明確にし、計画的に実施することで、運営の向上を図ることに期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義を確実に理解して、職員に自己評価の書式を配布し、全員が分かる事を記入し、管理者が集約して記述している。評価を行い、ホームの欠点を把握し、時には管理者から指摘をする等、運営の向上に反映している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、同法人の別のグループホームと一緒に開催している。家族の意見はあまりないが、自治会長や地域包括支援センターの職員からは、役目を担った建設的な意見が聞け、運営に反映して、運営推進会議を有効に活用している。今後、地域の代表(例、民生委員等)の増員を思考されることが望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関に意見箱を設置し、傾聴の姿勢をアピールしている。家族の来訪は月1回以上はあり、声かけをして意見を聞いている。医療の領収書についての質問があるが、説明し理解に繋げている。今後の取り組みとして、入居者の様子が理解できる「便り又は手紙」の作成を期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営者や職員が原城マラソンに参加し、ホームのアピールに繋げている。母体の病院は地域医療やデイケアを運営し、地域の人との安心と交流の場であり、定着している。現時点では地域の情報の入手が困難であり、積極的な関わりまで至っていない。グループホームの存在は母体やデイケアから地域に浸透しているが、ホームとの交流が見えない。運営推進会議を活用し、現在のメンバーに地域の情報に詳しい人を追加し、情報の入手と同時に、文化祭への出展や市民清掃への参加等、積極的に取り組まれる事を期待したい。

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人一人の意志及び人格を尊重し自由に安全に生活できる」を理念に掲げ、契約書や重要事項の同意欄に記述し、家族への理解に繋げている。入居者は母体の医療機関を通じての入居が多く、地域の中での生活を医療に守られながら安心して日々の生活を送っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に関してカンファレンス会議で話す機会を設けている。職員は入居者の安全を第一に考え、重度の人に笑顔で声かけをする事を念頭に置き、少しでも楽しんでいただく支援をしている。今後職員の介護目標を掲げ、方向性を明確にした支援に取り組む予定である。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営者や職員が原城マラソンに参加し、ホームのアピールに繋げている。母体の病院は地域医療やディケアを運営し、地域の人との安心と交流の場であり、定着している。現時点では地域の情報の入手が困難であり、積極的な関わりまで至っていない。		グループホームの存在は母体やディケアから地域に浸透しているが、ホームとの交流が見えない。運営推進会議を活用し、現在のメンバーに地域の情報に詳しい人を追加し、情報の入手と同時に、文化祭への出展や市民清掃への参加等、積極的に取り組まれる事を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を確実に理解して、職員に自己評価の書式を配布し、全員が分かる事を記入し、管理者が集約して記述している。評価を行い、ホームの欠点を把握し、時には管理者から指摘をすることで、運営の向上に反映している。前回の改善点は取り組み(数ヶ月家族への個別便りの発行されたが、現在は実施なし)の努力はあるが、積極的な取り組みではない。		評価をホームの向上の一端と考え、メモを取りながらの受審であり、積極性が理解できるが、現実に取り組む為の、改善計画シートを作成し、ホームにとっての重要性を理解し、できる事は早急に、困難な事は期間を明確にし、計画的に実施することで、運営の向上を図ることに期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は同法人の別のグループホームと一緒に開催している。家族の意見はあまりないが、自治会長や地域包括支援センターの職員からは、役目を担った建設的な意見が聞け、運営に反映して、運営推進会議を有効に活用している。今後、地域の代表(例、民生委員等)の増員を思考されることが望まれる。		

グループホーム 菜の花

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険審査会への参加や市町村の福祉課の人と話す事があり、ホームで必要な状況に応じて、連絡して理解に繋げている。現実にはあまり関わりはないが、問題はなく、今後も情報の共有を図っていく方向性である。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	前回の評価後に個別に手紙を書き、家族に渡した経緯はあるが、現在は休止状態である。個別に口頭や電話で連絡を行っている。預かり金は、出納帳に記述と同時に、毎日金銭授受を申し送り、家族には領収書を渡し、確認を頂いている。また、ホーム内の祠の費金も金銭申し送り簿で管理している。		家族にとって、ホームでの生活や入居者の状態は興味があることで、是非便りの作成(例、ホーム全体の行事・予定・実施項目・時にはメニュー等は全員に印刷し、その中に個別の状況・必要品等の記入)をされ、家族の安心と喜びに繋げられることを期待したい。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、傾聴の姿勢をアピールしている。家族の来訪は月1回以上はあり、声かけをして意見を聞いている。医療の領収書についての質問があるが、説明し理解に繋げている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	関連法人内で異動は時々ある。職員の離職は少なく、今年度は入居者への関わりを重視し、職員を1名増員している。管理者の退職により、現在は選考中であり、また、計画作成担当者も関連法人のグループホームからの派遣であり、入居者の理解の共有の中心的な立場の不足が窺える。		日々のケアの中心的な立場である、管理者や計画作成担当者を早急に、選定することが望まれる。それに伴い、入居者にとってより良い方向や、内面的な運営の充実が期待される。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の案内は多数あり、管理者が割り振りして、殆ど参加をしている。法人に研修委員があり、順番で次の研修を担当し、意識向上とスキルアップに繋げている。パソコンで職員の受講状況を管理しており、全員が学ぶ機会を大切にしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	母体が他ホームの協力医療機関であることを含め、馴染みの関係が確立している。また、南島原ケア研究会に所属し、研修に参加し、他ホームの職員と交流を行い、ネットワーク作りが出来ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者の入れ替わりは少ないが、母体の医療機関から入居に至るケースが多い。病院に隣接し、行き来できる造りであり、入院時から何らかの関わりがあり、看護師から情報を入手でき、入居者は特別の場所の感覚はなく、安心して生活している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>会話が出来る入居者からは、時には昔話を聞くことがある。重度の入居者が多く、会話も困難な人や全く反応がない人に対しても、常に笑顔で声掛けを行い、一緒に空間に生活する仲間として努めている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>要介護4・5の入居者が多く、意志の疎通には困難をきたしている。聞ける部分は家族から情報を頂き、職員が様々な事を試しながら、入居者の意向を理解する為の努力を惜しまず実施している。今後、基本情報にケアポイントを書き込み、一目で分かる書式の工夫が期待される。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者や家族の意向に沿って、計画を作成し、家族の了解を得ている。6ヶ月ごとに職員が全員参加したサービス担当者会議を開催し、職員の意見や入居者の状況に沿って、サービス内容を決め、記録シートと一緒に綴り、職員間の共有に繋げている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>現在施設サービス計画書の書式を使用し、必要項目を抜粋したアセスメントシートを活用し、3ヶ月毎のモニタリング・6ヶ月毎のサービス担当者会議、日々の記録から見直しを行っている。介護計画・モニタリング・日々の記録の連動の不足が感じられる。</p>		<p>見直しの期間は3ヶ月・6ヶ月で実施されているが、施設サービス計画書とモニタリング総括表を統合し、サービス内容の項目に沿って、モニタリングを実施し、同じ書式の中に記入されることに期待したい。又は、モニタリング表の見直しを行い、毎月チェック方式にし、入居者の変動が一目で分かる書式の工夫を期待したい。また、日々の記録を計画に沿った記述方法にする事で、計画に反映できる書き方の工夫が望まれる。</p>

グループホーム 菜の花

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の状態を考えると現時点では、医療面が重要であり、入院回避・早期退院・医療処理を受けながら生活の継続・重度化に伴う入院回避、看取り等の充実が著しい。また、理美容の出張サービスも行っており、現状を理解したサービスを実施している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者は母体であるクリニックがかかりつけ医であり、ホームの中に医師の自宅があり、安心した生活である。必要に応じて、歯科・眼科の受診も支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	基本的に看取りを行う方針であり、実際に数名行った経験がある。職員は常に看護師や医師の指導を受けており、慌てる事無く対応が出来ている。また、家族も最後まで見て頂ける事で安心して入居のケースも多い。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者に関する守秘義務を要する必要書類は事務所で管理し、他者の目に触れないようにしている。失禁時は居室を閉めて交換したり、入浴時には同姓を希望される人には希望に沿って同姓職員が支援している。また、法人で接遇マナーの研修等も行っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活の流れが出来ており、現時点ではレクレーションや、したいことを把握しながらの支援にまで至っていない。職員を増員し、入浴はかなり改善されたが、重度の入居者が優先的になり、希望に沿った支援とは言えない。		重度の入居者が多く、その人らしい生活は今後の課題であり、職員の増員を行い努力は理解できるが、軽度の入居者の生きがいに繋がる支援が気になり、今後様々な工夫を期待したい。

グループホーム 菜の花

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のお手伝い出来る人は少なく、他の人がするのを嫌がる人もあり、食後の食器重ねに留まっている。職員は入居者の食事介助に付き、一緒には食べておらず、休憩時間に休憩室で食事を取っている。現在は院長が違う場所で同じ物を食べている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の増員により週2回のペースでの入浴支援が出来るように成っている。介護度の高い入居者は状態を診ながら、シャワー浴や清拭で対応している。また、拒否者には様々な工夫をしながら入浴に繋げている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者で出来る人が少なく、状態の良い時は、食事の時のエプロンをたたむ・洗濯物をたたむ等をしている。歌の好きな人は歌詞カードを見たり、お金を数えたり、それぞれの好みに沿った支援を実施しており、活力の引き出しには苦慮している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自由に動ける人は2～3名であり、時には散歩やマラソンの応援で外に出る事はあるが、殆ど入居者は外出する機会がなく、離床に努め食堂までの移動の支援に留まっている。		重度の入居者を考えると、全員での外出や、定期的な支援が困難である事は訪問時に実際に見て理解できる。外の風や日差しに当たる機会や、動ける入居者と季節の花を摘んで来て、居室や食堂に飾る等、季節を感じる支援から始められることに期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在一人で外出できる人は1名で、他の入居者は外出できる状況ではなく、玄関には鈴を付け、出入りが確認できるようにしており、施錠は行っていない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署立会いで(うち1回は運営推進会議と一緒に実施)避難訓練を実施している。敷地内は完全に禁煙にする等、火災には十分注意を払っている。現時点では地震の訓練実施はなく、備蓄(貯水タンク有り)や持ち出し品に関する把握の実施はない。		入居者の状態を考えると火事や避難を有する状況が発生すると、自発的に動く事は不可能であり、火災を起こさないチェックは基より、繰り返し訓練が必要である。また、地震災害も地域性を考えると免れない事である。備蓄や持ち出し品と一緒に職員と話し合い共有を図ることを期待したい。

グループホーム 菜の花

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が献立を作成し、ホームで調理している。メインの食材を一括購入する事で、コストを落とし、低料金で提供している。入居者の身体状況に沿って、刻み・ミキサー・トロミ・鼻腔経胃経管栄養法等支援している。また、水分は制限の必要な人のみ管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	かつて院長の自宅であった建物を増築して、グループホームとして活用している事から、一般の家庭的な建物であり、玄関や食堂、庭等、普通の家と特別変わらない。道路に面しているが騒音はなく、静かである。食堂は明るく、2階への移動を考えエレベーターの設置があり、入居者に配慮した環境が整備されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はそれぞれの入居者や、状態に伴い、動ける人は仏壇・コンテナ・テレビ・写真等の生活用品を持ち込み、重度の人はベットが中心的位置を占めている。褥瘡に配慮してエアマットを使用する等その人に合った支援を行っている。		